

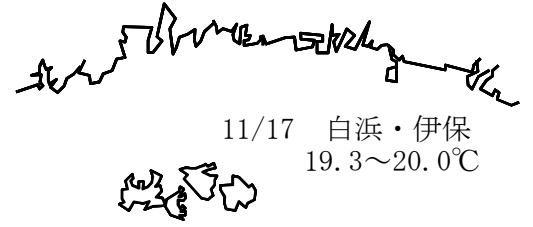
兵庫県のみ漁場環境情報 (西播海域 4 号)

平成28年11月18日発行
 兵庫のみ研究所

この海域沿岸域を中心に多種多様な珪藻が依然として多く発生しており、地先漁場においては窒素が概ね1~2 $\mu\text{g at / L}$ と低い状況になっています。沖合漁場において窒素は4~5 $\mu\text{g at / L}$ の値を示しました。これら珪藻の発生量は前回(11/8)調査と比較しやや減少しており、明日(11/19)は低気圧の通過に伴い南風の予報となっていますので、大きな環境変動に期待したいところです。

(栄養塩、珪藻) 地先漁場においては前回調査同様、多種多様な珪藻が多く窒素は低い値を示した。沖合漁場においても同様に珪藻が確認され窒素が4~5 $\mu\text{g at / L}$ であった。海域全般にこれら珪藻の発生量がやや減少しており、色素の抜けた細胞や形態の崩れた細胞が散見された。

水温図



		前回は	今回値	平年値	昨年値
西播地先	窒素	3.4	2.3	7.0	10.6
	リン	0.43	0.43	0.73	0.84
家島・坊勢	窒素	5.7	4.9	5.0	6.3
	リン	0.67	0.62	0.68	0.69

(11/8) (11/20)

栄養塩 (窒素) 図

平成28年11月18日調査

